

○水草研究会第3回全国集会報告

日時、1981年8月23日(日)

場所、名古屋市東山動植物園、植物会館研修室

台風の影響による交通機関の遅れで、残念ながら参加できなかった人もいたが、会員25名と会員外15名の40名の参加を得て行われた。また、この会と並行して、会場ロビー前で、「東海地方の水草展」が開かれ、多くの見学者が訪れ会を一層盛り上げてくれた。

講演はつぎのようである。

1. 名古屋市周辺の水草あれこれ…脇田晴美
2. 石川県の池沼における水生植物…高木政喜
3. 三重県のシャジクモ科について…須賀瑛文
4. セダカミズオオバコについて…大滝末男
5. 走査電子顕微鏡でみたウキクサ科の花と種子の構造…別府敏夫

「東海地方の水草展」に展示された水草はつぎのようである。

ヒメガマ、オオフサモ、マコモ、カンガレイ、クログワイ、テガヌマイ、ハス、ヒツジグサ、タチモ、フトイ、ヘラオモダカ、コウホネ、マルバオモダカ、ヒメコウホネ、サワギキョウ、オモダカ、アギナシ、ノタヌキモ、オニバス、アサザ、ヒシ、ガガブタ、トチカガミ、デンジソウ、ヒルムシロ、ジュンサイ、ミズユキノシタ、ヒシモドキ、ヒメシロアサザ、フトヒルムシロ、サンショウモ、ホテイアオイ、ヒンジモ、ヒナウキクサ、ミジンコウキクサ、タヌキモ、アオウキクサ、ムジナモ、コウキクサ、イボウキクサ、ヒメウキクサ、ウキクサ、キクモ、センニンモ、クロモ、ホッスモ、オオトリゲモ、ヤナギスブタ、オヒルムシロ、ミズニラ、フサモ、ホザキノフサモ、ミズオオバコ、ホソバミズヒキモ、セキシウモ、マツモ、コカナダモ、ヤナギモ、シャジクモの59種と、参考として栽培種のオオバナイトタヌキモ、タテジマフトイ、ヌマオオバコ、アメリカミズユキノシタ、バコバ、エキノドラス・ラディカンス、ボタンウキクサ、ナガバオモダカ、ヒメスイレン、ラセンイ、サルベニア・ククラータ、オオサンショウモが展示された。さらに、野口達也氏が採集し、栽培中のカヤツリグサ科タマガヤツリ、アゼガヤツリ、チャガヤツリ、アオガヤツリ、コゴメガヤツリ、ヒナガヤツリ、ヒンジガヤツリ、カヤツリグサ、カンエンガヤツリ、ヒメアオガヤツリ、コアゼテンツキ、アオテンツキ、ヒデリコ、ヒロハコウガイゼ

キショウ、メアゼテンツキ、アイダクグ、イヌホタルイ、ホタルイ、コホタルイ、マツバイ、シカクイ、ヒメシカクイ、エゾハリイ、タイワンヤマイ、ハリイ、オオハリイ、セイタカハリイの27種が展示された。

全国集会および水草展が盛会に終ることができたのは、植物園の坂梨一郎園長をはじめ園の皆様のご協力によるもので、厚くお礼を申し上げたい。(浜島記)

総会決定事項

1. 会費を2000円に値上げすること(事後承諾)
2. 幹事として次の3名の方に、新たに加わっていただくこと  
太田敬久(名古屋)、脇田晴美(名古屋)  
田中 修(京都)

昭和55年度会計報告

1. 収入(昭55. 8. 9~12. 31)	
繰越金	63,722円
利息	3,495円
会費	135,115円
	<hr/>
	計202,332円
2. 支出	
会報No.2印刷、編集諸費用ほか	80,000円
通信及び郵送料	54,000円
ゴム印、角印、文房具	45,727円
雑費	750円
	<hr/>
	計180,887円
次年度繰越金	21,445円

投稿のお願い

水草に関するあらゆる話題を、御気軽に投稿下さい。原稿は横書き原稿用紙を用い、図表は別紙にお書き下さい。

原稿の送り先 〒657 神戸市灘区鶴甲1-2-1、  
神戸大学教養部 角野康郎宛

水草研究会会報 No 5 (1981年10月)

[Bulletin of Water Plant Society, Japan]

発行 水草研究会(〒123 東京都足立区梅田

3-26-28 大滝末男気付)